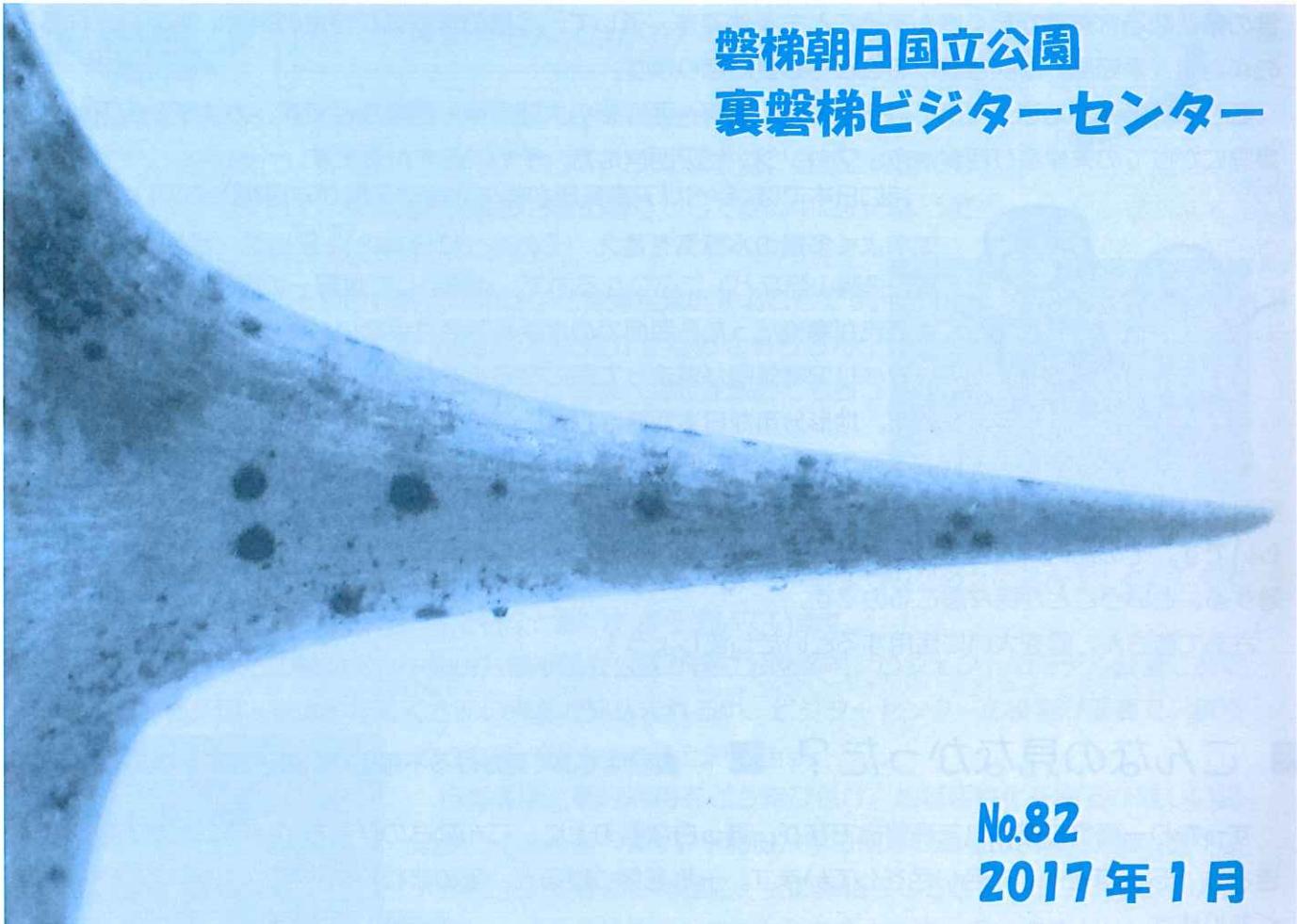


裏磐梯だより



磐梯朝日国立公園
裏磐梯ビジターセンター



No.82
2017年1月

小さな世界 ⑯

冬、スノーシューを履いて歩いてみると、一面の銀世界が広がります。1m以上もの積雪があり、様々な種類の木に雪が積もっている様は幻想的です。そんな中、足元に目を向けてみると、トゲがよく目立つ「ハリギリ」の若い幹があります。少し離れた場所から見ても分かるくらいであり、幹の太さと比べると、トゲがいかに立派なのかが分かります。それだけ長くて太いトゲですので、素手や薄手の手袋を着用して触ってみると、結構痛いです。トゲをうまく避けて観察してみましょう。ちなみに、裏磐梯で他にトゲがある植物には「タラノキ」もありますが、ハリギリより細かいトゲがびっしりとついている印象です。

夏や秋に比べると、冬は植物に注目することが少ないかもしれません。他の季節とは違った見方ができ、新たな発見があるかもしれません。だからこそ一度、じっくり観察してみてはどうでしょうか？

(「ハリギリのトゲ」 2017年1月7日)

20 年 月 日

来館記念スタンプをどうぞ

■ 積雪量が世界一？！ ■

積雪量が世界一のところはどこでしょうか？ 裏磐梯は雪が多いけど世界一なの？いや早合点せず、考えていきましょう。

雪すなわち寒いところ、との発想からシベリアや北米内陸等を考えますが、寒いだけでは雪は降りません。雪の素となる水蒸気がたくさんあることも条件です。そして、多量の水蒸気が特定の場所にもたらされる一定の卓越風（季節風）が吹き続けることも必要になります。

こうした条件が地球上でてはまるのは、温帯～亜寒帯の大陸東岸・西岸などです。カナダからアメリカ合衆国にかけての東岸及び西岸地方、スカンジナビア西岸地方、そして日本付近です。

特に日本では、シベリア高気圧からの北西季節風が対馬暖流の流れる日本海で効率よく多量の水蒸気を蓄え、その直後に日本の脊梁山脈（奥羽山脈、越後山脈、飛騨山脈など）にぶつかるので、地域として世界一の降雪を見ます。もし対馬海流が寒流だったら海面での水蒸気蒸発は少ないし、日本海がもっと広かったらシベリア寒気団が温まって雨になるだろうし・・・と、絶妙な海陸分布、海流分布、地形分布が日本海側を世界一の雪国にしているのです。

福島県では、只見地方があてはまります。さて裏磐梯は、といいますと、雪の降り方が只見とはかなり異なりますが、只見町の2倍近い標高のため一層寒さが厳しいです。そのため降った雪がなかなか解けず、いつのまにか積雪量が只見に肉薄する、ということが時々起こるのです。

さて皆さん、雪を大いに活用するといたしましょう！



■ こんなのが見なかつた？ ■

裏磐梯でよく見かける不思議なもの…さて、なんでしょう？

すっかり一面雪に覆われた裏磐梯ですが、真っ白な雪の上に、こんなものが落ちていることがあります。大きさは1.5cmほどで、茶色い色をしています。一片を見つけると、そのまわりにも何片か落ちていることがよくあります。

さて、これは一体何なのでしょうか？

- ①落ち葉
- ②植物の種子
- ③鳥の羽の一部
- ④落花生の皮
- ⑤ゴミ

正解は②で、「クマシデ」という植物の種子です。秋には、しめ縄の四手飾りを連想させるような形をした薄緑色の実をつけます（写真下）。この実の一片一片が、今回の落とし物です。



片側にギザギザの入った葉のようなものの先に、小さな橢円形の種子がついています。種子を抱いている葉のようにも見える部分は「果苞」といい、これがプロペラの役割を果たすことで、種子はくるくると回りながら落ちていきます。カエデの仲間の種子が風に乗って飛ぶことはよく知られていますが、シデの仲間も風を利用して遠くに種子を飛ばします。秋までに落ち切らなかった種子が、今の時季にときどき雪の上で見られるという訳です。

前の季節に見ているものに、また違った姿で再会することもある冬の散策。ぜひ、雪の上の落とし物に注目してみてください。

■ 自然人（しぜんびと）

■ 自然の中でがんばっている人たちを紹介します

このコーナーでは自然活動をがんばっている若い方にスポットをあて、自然の魅力や活動、目標などを紹介していただきます。



今回は「十和田ビジターセンター」解説員の
森永 光さん（ひかる）です。

「十和田ビジターセンター」
ここです！



私が働いている十和田ビジターセンターは、平成26年4月にリニューアルオープンした建物で、外壁は木材仕様でログハウスのような、自然との調和も良い造りとなっていて、来館者の皆様から木の香りがして森の中にいるよう気持ちがいいと評判の施設です。

私の主な仕事は、十和田湖周辺の自然などを情報発信することです。ビジターセンターに訪れた方へ展示などで紹介するのはもちろん、Facebook やお便りなどを通じて、さらに皆様へ関心を深めてもらうために情報収集・発信しています。



私はこの仕事に就いてまだ2年で、なにもわからないところからのスタートでした。（鳥はスズメ、花はタンポポくらいの・・・。）本当に見るものすべてが新しく、とても感動しました。「何も考えずに歩いていたところにこんなに素敵なものがあったなんて」と。このときの感動を多くの方に伝えていけたらなと思いながら働いています。

また、これから課題で、十和田八幡平国立公園が国立公園満喫プロジェクトのモデル公園に選定され、今後外国人を含めてたくさんの来訪が見込まれる中、ビジターセンターの役割が重要で、積極的な対応が要求されると思います。



自然保護と観光利用をどう結び付け、地域活性化を図るか難しい課題がたくさんあります。十和田八甲田地域にある山、湖、渓流の豊かな大自然が国内外のお客様に、その素晴らしさと楽しさがつたわるように解説、案内することもこれからの私の仕事だと思います。

★十和田ビジターセンター★ Facebookのアカウントもぜひ検索してみてください。

<http://www.env.go.jp/park/towada/guide/towadavc/index.html>

■ ようこそ！ビジターセンターへ

■ 裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

冬のイベント紹介、レンタルについて

冬のイベントとして、「わくわく散歩」・「スライドトーク」を実施します。「わくわく散歩」では、スノーシューを使って雪の上を歩きます。スタッフからスノーシューの使い方や、フィールドを歩く場合の注意点を聞き出発します。約30分ですので、ビジターセンター周りの散歩になりますが、普段歩けない場所を歩いたり、ふかふかの雪と戯れたりと、楽しい時間を過ごすことができます。ぜひ参加をしてみてください。素晴らしい思い出になります。



なお、ビジターセンターでは、長靴やスノーシューのレンタルをしていますので、道具を持たなくても気軽に参加できます。また、「わくわく散歩」に参加しなくても、長靴やスノーシューのレンタルをご利用いただけますので、お気軽にスタッフにお問い合わせください。

お知らせ

*ウェブサイトからも裏磐梯だより最新号やイベント報告の詳細をご覧いただけます

イベントのご案内

わくわく散歩

スタッフがビジターセンター周辺をご案内します。
簡単なスノーシュートラベル体験ができます。

随時受付 所要時間：30分程度 定員：10名

参加費：100円（未就学児無料）



スノーシューレンタル代：500円

長靴レンタル代：200円

第12回学生研究発表会 聴講者募集

第12回学生研究発表会の聴講者を募集します。主に磐梯朝日国立公園で調査・研究を行っている大学生、大学院生のみなさまにその成果を発表していただきます。お電話で申し込みください。

期日：3月15日（水）

12:30～16:00頃

参加費：無料 定員：40名



環境省東北地方環境事務所主催 冬の自然ふれあいイベント

「冬の五色沼 スノーシューハイキング」

裏磐梯地区パークボランティアの案内で、ビジターセンターから竜沼までスノーシューを履いて歩きます。

期日：2月12日（日）9:15～12:15

参加費：50円（保険代） 定員：15名

詳細は、裏磐梯自然保護官事務所までお問い合わせください（TEL：0241-32-2221）。

レンタルについて

スノーシュー、長靴、双眼鏡、クマ鈴をレンタルしています。
金額等についてはお問い合わせください。

「裏磐梯だより」について

■ ウェブサイトからもご覧いただけます！

年間6回（奇数月）の発行ごとに更新します。どうぞおたのしみに！

■ 総集編vol.1～3販売中!!

※各1冊 1,300円（税込）

裏磐梯ビジターセンターにて販売しています。

■ 郵送でお届けする定期購読も！

ご住所とお名前を明記の上、82円切手6枚（1年間6回の送付分）
を同封して裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。

スライドトーク

スライドを使い、スタッフが五色沼の成り立ちや
水の仕組み、磐梯山の噴火、裏磐梯で暮らす生き
物などについてお話しします。

随時受付 所要時間：25分程度

参加費：無料 定員：40名



第9回裏磐梯雪まつり「キャンドル作り」

裏磐梯雪まつりの会場（裏磐梯サイトステーション）にて、リサイクルのろうを使ったオリジナルの
可愛いキャンドルを作ることができます。

期日：2月17日（金）～2月19日（日）

日によって実施時間は異なります。

所要時間：40分程度

参加費：300円



野外イベント参加者へ

・裏磐梯は1.5m以上も雪が積もる場所です。上下
のレインウェアやスキーウェアなど、雪遊びのできる
服装を準備してお越しください。

・天候の悪化など状況により実施できない場合があ
ります。予めご了承ください。

・小さいお子様がご参加の場合、親御さんも一緒に
ご参加をお願いします。

★ビジターセンターの窓から★

雪が降る中、どんどん白くなる自分の
車を眺めています。除雪も楽しんでや
っています。（ろっぴ）

ふかふかのパウダーをくいにきませ
んか？（くりりん）

どかっと来たのでスノーシューでも
XCスキーでも泳いで進む感じ！締まりを期待！（ターサン）

「冬には冬の良さがある」五色沼の冬
景色は、まさにそれを感じさせてくれ
ます。（はるるん）

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

開館時間

冬季 12月～3月 午前9:00～午後4:00
(夏季 4月～11月 午前9:00～午後5:00)

休館日 毎週火曜日、年末年始休館
(火曜祝日の場合は開館し翌日休館)



入館無料

TEL 969-2701

福島県耶麻郡北塙原村大字桧原字剣ヶ峯 1093-697

TEL 0241-32-2850

FAX 0241-32-2851

ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.jp>